

火星観望会の実施にあたって

【概要】

実施日：2018年8月4日（土）20:00～21:30（22:00にはスタッフも撤収完了すること）

参加予定者：上村、篠原、砂田、角、平、広滝、松井、宮田、山田（明）、與吉光、吉村

職員：古賀、山田（恵）、小野田、平野、石橋、角田

【火星観望にあたっての注意】

- 今回は火星が明るく、円盤状（面積を持っている状態）に見えているということを観察してもらうことを目的とします。そのため、火星表面の模様（極冠や黒っぽい台地など）は紹介できません。
- できるだけ多くの方に見ていただくために、1人あたりの時間が制限されます。1人あたり入替えの時間を含め30秒で最大1,440人、60秒で最大770人まで対応できます。
- 各望遠鏡の列には常に2～3グループほど滞留している状態を維持し、少しでも時間のロスがないようにしたいと思います。
- 開始時刻前でも、火星が導入できた望遠鏡から順次案内していきます。

【火星について】

太陽から4番目の惑星。地球型の岩石質の惑星。

地表は、赤さびと同じ酸化鉄（III）を多く含むため赤茶けて見える。

太古には海の存在が示唆されているが、現在地表には見られず、地下などにわずかに存在が確認されている。

Mars（英語：マーズ、ラテン語：マルス）、ギリシア語： $\alpha \rho \eta \varsigma$ （アーレス）

大気：二酸化炭素95.3%、窒素2.7% 気圧：6hPa（地球の150分の1以下）

【火星大接近に関するデータ】

前の大接近：2003年8月27日18:51(JST), 距離 5,576万km, 明るさ -2.0等

前回の接近：2016年5月31日6:34(JST), 距離 7,528万km, 明るさ -2.0等

今回の接近：2018年7月31日16:50(JST), 距離 5,759万km, 明るさ -2.8等

次回の接近：2020年10月6日23:18(JST), 距離 6,207万km, 明るさ -2.6等

次の大接近：2035年9月11日23:20(JST), 距離 5,691万km, 明るさ -2.8等